

◆2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する北海道

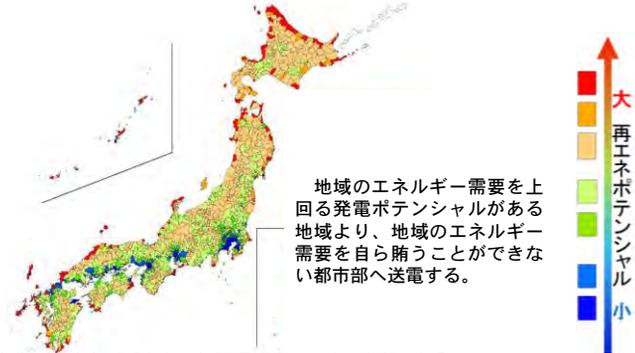
豊富な再生可能エネルギーや森林吸収量などの最大限の活用、積雪寒冷地ならではの環境イノベーションなどの北海道の強みを発揮し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献します。

●北海道の再生エネルギー導入ポテンシャル



【出典：風力発電、太陽光発電、中小水力発電、地熱発電は、再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)2022年3月修正版(環境省)、バイオマス産業都市は、2023年1月12日現在(農水省)、森林面積は、森林・林業統計要覧2022(林野庁)】

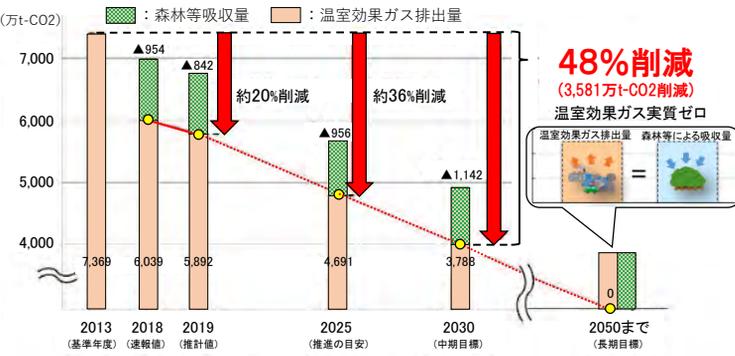
市町村別の再生エネ導入ポテンシャル※



【出典：環境省(「令和元年版環境白書」を一部修正)】
※再生エネポテンシャルからエネルギー消費量を差し引いたもの。

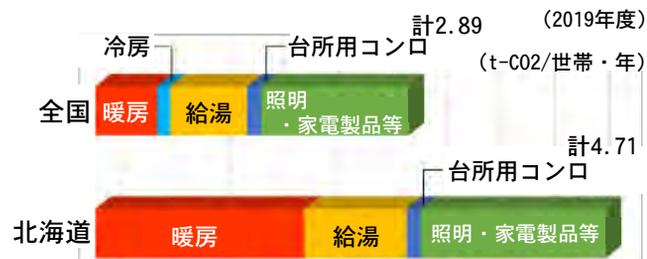
【出典：国・地方脱炭素実現会議 ヒアリング(第4回)(内閣官房)、令和4年度版国土交通白書】

●北海道の温室効果ガス排出量の削減目標



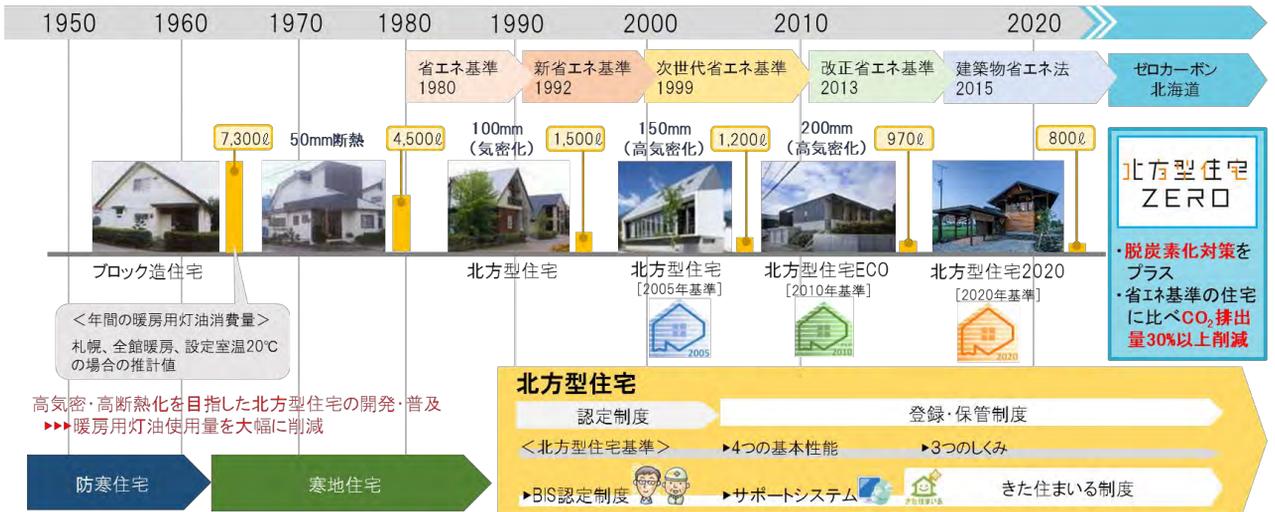
【出典：北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)改定版より】

●全国と北海道の家庭部門の二酸化炭素排出量



【出典：家庭部門のCO2排出実態統計調査(環境省)(令和3年3月)】

●北海道の住まいづくりの歩み～北方型住宅～



●次世代半導体産業の立地

世界最先端・最高水準の半導体を北海道から世界に届けるという壮大なプロジェクトの実現に取り組み、我が国のデジタル化や経済安全保障に貢献します。

Rapidus(株)が技術開発・量産製造を目指す次世代半導体は、我が国の半導体産業の再興・発展やデジタル化、本道の「ゼロカーボン北海道」と国のカーボンニュートラル、更には経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術であり、道では、国や地元千歳市とも密接に連携し、工場の整備が円滑に進められるよう取り組んでいます。



◆道民の命を守り、国全体の強靱化に貢献 - 北海道強靱化計画

自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服し、道民の命を守るとともに、地域間のネットワークを基本としたバックアップ体制を構築し、国全体の強靱化に貢献します。

国全体の強靱化に貢献する
バックアップ機能を発揮

国土強靱化を支える
北海道の強み

地理的優位性
首都圏や関西圏から遠距離にあり
同時被災リスクが低い。

食料供給力
カロリーベースで200%を超える
食料自給率。

エネルギーポテンシャル
太陽光、風力、バイオマス等、再生
可能エネルギーのポテンシャルは
全国トップクラス。

都市機能・人材
首都機能の代替が可能な札幌圏が
存在。多様な高等教育機関が全道に
存在。

寒冷地技術
道外の冬季の防災対策などへの有
効活用が期待できる。



自然災害に対する
北海道自らの脆弱性を克服



◆観光立国の実現に貢献する北海道

北海道は広大な自然や密になりにくいアウトドア環境などの優位性や、多くの観光資源を有しており、日本を代表する観光拠点として観光立国の実現に貢献します。

●国内の旅行に行きたい地域

各世代とも、国内の旅行に行きたい場所としては**北海道がトップ!**

順位	海外旅行志向層	若年層 (Z世代)	若年層 (ミレニウム世代)	アウトドア趣味層	一般層
1	北海道 77.2	北海道 69.1	北海道 76.8	北海道 82.9	北海道 68.3
2	沖縄 65.4	沖縄 51.6	沖縄 61.4	沖縄 64.2	九州 51.5
3	九州 59.8	九州 51.3	九州 56.2	九州 64.0	沖縄 48.6
4	東北 50.8	近畿 49.3	近畿 51.0	東北 60.4	近畿 48.4
5	近畿 50.4	関東 38.9	東北 42.1	近畿 55.2	東北 45.0

Q:あなたが今後(も)、旅行に行きたい 行ってみたい地域をすべてお選びください。
【出典:令和3年度 広域連携 DMO としてのデジタルマーケティング事業
「国内旅行調査分析事業」調査報告書(公益社団法人北海道観光振興機構)】

●道内の観光地をつなぐ交通ネットワーク



●観光立国・北海道 (豊富な観光資源)



北海道の地域特性と直面する課題

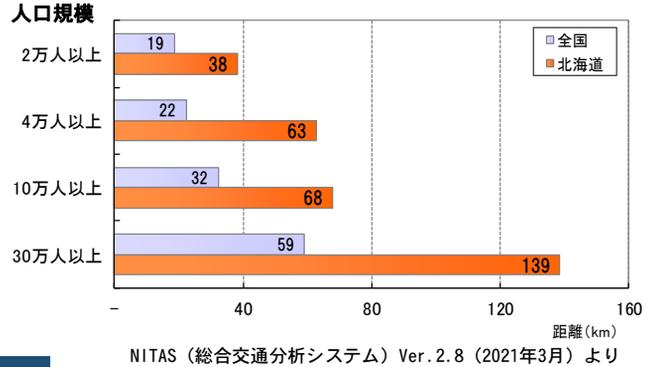
◆広域分散型社会

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型社会であり、都市間距離は全国の約2～3倍になります。

●札幌・東京から各都市までの距離（高速道路経由）



●最寄都市までの平均道路距離



◆積雪寒冷な気候と頻発する自然災害

北海道は全域が積雪寒冷特別地域に指定されています。道道の通行止め要因の約8割は吹雪や降雪などの雪害となっています。

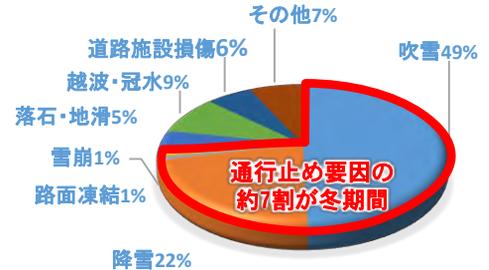
●雪害発生状況（傾倒木）



●令和4年2月大雪の状況



●道道の通行止めの要因（2013.04～2023.3）



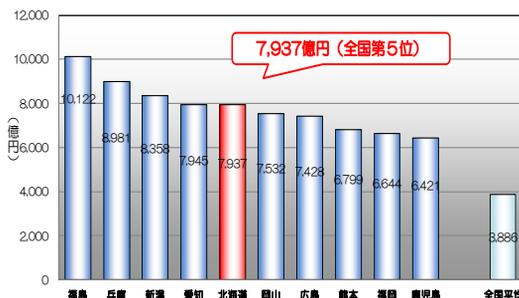
※合計：約4,600件

北海道建設部調べ

北海道では近年、台風、地震、豪雨など、度重なる大規模な自然災害に見舞われており、過去30年間の水害被害額は、全国第4位となっています。

また、北海道には31（うち北方領土11）の活火山があり、気象庁の常時観測火山の9火山（十勝岳、有珠山、北海道駒ヶ岳など）について噴火警戒レベルが導入されているほか、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など巨大地震の発生も懸念されています。

●過去30年間（1992～2022）の水害被害額（国土交通省統計資料）



●北海道の活火山（気象庁HP画像を加工編集）



●北海道胆振東部地震（平成30年9月）

